

新年のごあいさつ

コロナが変えた新たな社会の中で

津市長 前葉 泰幸

令和4年の新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

ウィズコロナが私たちの日常となる中、昨年は市民の皆さまの命と健康を守る感染防止対策を万全に進めながら、刻々と変化する感染状況が暮らしや地域経済に及ぼす影響に対しても、丁寧できめ細かな支援策を形にし続けた1年でありました。

新型コロナワクチンは、子どもと接する教員・保育士や妊婦・小中高生への優先接種など、知恵を絞り工夫を凝らしながら市独自の取り組みを進めることで、昨年11月末には希望する市民への2回目の接種を完了しました。コロナ支援策は、全ての市民への支援としての水道料金(基本料金)の4カ月無料化や学校などの臨時休業等に伴う家計支援金の支給、また暮らしや地域経済を支え続けるため必要となるとき必要となる所に支援を積み重ねた事業者への事業継続支援金の給付や、高速船運航事業者への支援、医療機関への特別負担金の交付、そしてコロナありきの社会における将来を見据えた環境整備として、オンラインでの経営相談等のリモートサービスの提供や公共施設等のトイレ洋式化・エアコン整備などを実施しました。今年もコロナの感染動向に応じ、きめ細かな支援を適時適切に行ってまいります。

津市自治会問題を受け、制度改革・組織改革・職員改革の3つの改革に取り掛かりました。制度や仕組みの見直し、内部統制室の設置、津市公正公平な市政の確保に関する条例の制定に続き、地域調整室を廃止するなど組織を改編することとしました。今年、職員と共に進める改革の第2段階として、市政の透明性と組織の自浄機能を維持し、統制の取れた市役所とするため、ガバナンスの強化に努めてまいります。

市民の皆さまの幸せな暮らしづくりに向けて施設やインフラを整備します。今年は3月に香良洲橋の供用開始、4月に市立6つ目となる河芸こども園の開園、そして6月に津西会館別館の供用開始を予定しています。また、中勢グリーンパークには、Park-PFIという新たな手法を導入し、飲食施設や休憩所を造ります。榊原温泉湯の瀬の建て替え工事を進めます。さらに、大谷踏切、津興橋、香良洲高台防災公園、小中学校の校舎の大規模改修などの事業の進捗^{しんちょく}を図ります。

皆さまにとって、本年が幸多き1年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。